

令和 5 年度 群馬県企業局の決算について（速報）

令和 5 年度の企業局 5 事業全体の経常利益は、電気事業での供給電力量の減少や水道事業での料金改定の影響などにより、前年度に比べて 1 億 7 0 百万円減少し、4 9 億 6 9 百万円でした。
純利益は、前年度に比べて 3 億 8 百万円減少し、4 8 億 3 5 百万円となりました。

【令和 5 年度 企業局事業別決算概要】

(税抜き額)

区分	事業実績		営業収益		経常損益		純損益	
	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5	R 4
電気事業	供給電力量 (MWh)	供給電力量 (MWh)	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
	663, 933	878, 194	9, 040	9, 699	2, 883	3, 395	2, 861	3, 373
増減	△ 214, 261		△ 659		△ 512		△ 512	
基本計画値	782, 000	815, 000	7, 934	8, 315			1, 309	1, 211
実績-計画	△ 118, 067	63, 194	1, 106	1, 384			1, 552	2, 162
工業用水道事業	給水量 (千㎡)	給水量 (千㎡)						
	44, 564	44, 870	1, 609	1, 610	286	169	342	169
増減	△ 306		△ 1		117		173	
基本計画値	46, 468	46, 341	1, 601	1, 596			323	319
実績-計画	△ 1, 904	△ 1, 471	8	14			19	-150
水道事業	給水量 (千㎡)	給水量 (千㎡)						
	66, 082	65, 536	4, 045	4, 469	954	1, 081	963	1, 081
増減	546		△ 424		△ 127		△ 118	
基本計画値	66, 182	65, 536	4, 374	4, 466			1, 255	1, 520
実績-計画	△ 100	0	△ 329	3			△ 292	△ 439
団地造成事業	産業団地分譲面積 (h a)	産業団地分譲面積 (h a)						
	35. 6	5. 5	6, 133	1, 508	652	255	475	275
増減	30. 1		4, 625		397		200	
基本計画値	18. 7	14. 8	4, 732	3, 281			242	342
実績-計画	16. 9	△ 9. 3	1, 401	△ 1, 773			233	-67
施設管理事業								
増減			825	823	192	237	192	243
			2		△ 45		△ 51	
基本計画値			787	786			196	193
実績-計画			38	37			△ 4	50
・ ゴルフ場	利用者数 (人)	利用者数 (人)						
	196, 462	212, 300	618	622	191	231		
増減	△ 15, 838		△ 4		△ 40			
基本計画値	180, 000	180, 000						
実績-計画	16, 462	32, 300						
・ 賃貸ビル	貸付面積 (㎡)	貸付面積 (㎡)						
	4, 180	4, 180	163	160	△ 32	△ 18		
増減	0		3		△ 14			
基本計画値	4, 114	4, 073						
実績-計画	66	107						
・ 格納庫	貸付面積 (㎡)	貸付面積 (㎡)						
	2, 908	2, 541	44	42	33	25		
増減	367		2		8			
基本計画値	2, 380	2, 380						
実績-計画	528	161						
合計								
増減			21, 438	17, 834	4, 969	5, 139	4, 835	5, 143
			3, 604		△ 170		△ 308	
基本計画値			19, 428	18, 444			3, 325	3, 585
実績-計画			2, 010	△ 610			1, 510	1, 558

※表の数値は、表示単位未満の端数調整の関係で、合計と一致しない場合があります。

【決算の主な特徴】

●電気事業

- ・ 販売電力料は、夏季の小雨の影響やダム運用による利水放流の減少、リニューアル工事による発電所の停止などで供給電力量が減少したことにより、前年度に比べて6億65百万円減少し、90億26百万円
- ・ 経常利益は、販売電力料が減少したことなどにより、前年度に比べて5億12百万円減少し、28億83百万円
- ・ 純利益は、前年度に比べて5億12百万円減少し、28億61百万円

●工業用水道事業

- ・ 給水水量は若干減少したものの、給水収益は、前年度並みの16億9百万円
- ・ 経常利益は、電力料金高騰への対策として地方創生臨時交付金が交付されたことなどにより、前年度に比べて1億17百万円増加し、2億86百万円
- ・ 純利益は、契約水量減量に伴う受水企業からの負担金収入（特別利益）56百万円が生じたことにより、前年度に比べて1億73百万円増加し、3億42百万円

●水道事業

- ・ 給水水量は若干増加したものの、給水収益は、県央第二水道事務所の料金改定の影響により、前年度に比べて3億63百万円減少し、39億19百万円
- ・ 経常利益は、県央第二水道事務所の料金改定の影響で給水収益が減少したことなどにより、前年度に比べて1億27百万円減少し、9億54百万円
- ・ 純利益は、前年度に比べて1億18百万円減少し、9億63百万円

●団地造成事業

- ・ 分譲面積は、前年度に比べて33.3ha増加し、39.4ha
- ・ 経常利益は、分譲面積の増加に伴って分譲収益が増加したことにより、前年度に比べて3億97百万円増加し、6億52百万円
- ・ 純利益は、前年度に比べて2億円増加し、4億75百万円

●施設管理事業

- ・ ゴルフ場の利用者数は猛暑や降雪の影響を受けて減少したものの、料金収入は、公社ビルの共益費を値上げしたことや格納庫の貸付面積が増加したことにより、前年度に比べて7百万円増加し、8億3百万円
- ・ 経常利益は、公社総合ビルや新玉村ゴルフ場などの修繕費の増加等により、前年度に比べて45百万円減少し、1億92百万円
- ・ 純利益は、前年度に比べて51百万円減少し、1億92百万円

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

